

宝珠山如意寺だより

秋号

No.35

(令和4年10月1日発行)

※バックナンバーはHPで閲覧できます。

如意寺門前の夏景色 感染拡大の夏でしたが、様々な行事の再開も始まった夏でした。



8/7 千日会観光祭
ドラゴンカヌー大会

3年ぶりの開催となり、地元や京阪神から47チームが参加し、威勢のいい掛け声と太鼓の音が響きました。

8/9 千日会

久美浜の風物詩の一つ、如意寺本尊の夏の縁日。花火は今年も中止でしたが、3年ぶりに町からの灯ろう流しが行われ、感慨深かったとお声がたくさん聞かれました。



9/18 丹後100km
ウルトラマラソン



こちら3年ぶりの開催で今年で20回目。60kmと100kmのコースに約2000名のランナーが参加。如意寺と湾の間の道路を駆け抜けていきました。

七五三詣 10月～11月末



お札、お守、千歳飴、ぬり絵、紅葉枝か風車の授与品があります。

できるだけご予約下さい。

撮影用に和傘などの貸し出しもしています。

秋の法話会

十月二十三日(日)
午後十時より

写経の会

十一月六日(日)
午後十時～・参加費千円

イス席です。



海の見える和室で、静かなひと時をお過ごしください。
初めの方大歓迎です。慌ただしい毎日、「自分の時間」を作ってみましょう。

現在授与している 御朱印



だいひでん
大悲殿
【本堂】
十一面
観世音菩薩



日切
不動尊
【不動堂】
不動明王



阿弥陀
如来
【庫裏】
阿弥陀如来



毘沙門天
解体修復の御寄進(千円～)の御礼として授与しております。

特別祈禱
一年を通じて行っており、不動堂にて個別にご祈禱致します。正月三が日も行っております。
大晦日除夜の鐘は23時40分より。
甘酒接待の実施は未定です。
今年の干支置物の授与は年末近くになります。

初詣のご案内
新年の祈禱は、「護摩祈禱」と「特別祈禱」があります。
新春護摩祈禱
護摩木に願い事を書いて、お焚き上げします。新春祈禱札をお渡し致します。
家内安全・商売繁盛・厄災消除など
一願 二千円

秋の花暦 10月



ダイモンジソウ

山リンドウ

シユウメイギク

ホトトギス

アキギリ

ツリフネソウ

11月



キチジョウソウ

インギク

アキチヨウジ

サザンカ
サツマノギク

花情報は インスタグラム、Facebookでもご覧頂けます。

本当の信仰とは・・・

信仰とは、高いお金を出してどこかの団体に入ったりすることではない。

信仰は自分の足元で見つけた知恵に基づくものである。自分で探してきた花の種が芽を出し開花するのを待つように、身近な（人や自然、そして）諸仏とともに、自分の疑問や確信がゆっくりと育っていく。やがて、祈る自分も（人や自然から祝福され）祈られる自分も一つになって小さな力となる。（すると、心に抱える）疑問は少しずつ解けて、行動に自信がついてくる。そのようにして次第に堅固になった幹からは、最後の最後まで花が咲き続けるのである。

「自分に由る」のが自由である。「他に由って」いては、いつまでたっても強くなれない。自由な人はたいてい明るく、元気である。（見習いたいような）偉い人を探すのに遠くに行く必要はない。みなさんの身近にもたくさんおられることと思う。（良い意味でも逆の意味でも、人は見かけによらないもの。よい出会いを求め、それを大切に育てていきたい。本当の信仰は、たとえつらいことがあっても自分がそれを乗り越えるたびに、心がほこほこ温かくなるものである。）



住職著書『花寺和尚の 心の花がひらくとき』 最寄りの書店、楽天、アマゾンなどで
<大法輪閣> ご注文下さい。（¥1400）



仏教の“悟り”について

宗教の最終的な目標は、**戦いの終了と永遠の平和**である。しかし人間の「生」の現実には完全にその逆である。「平和のために闘う」などという言葉が標語になったりする。「人間の寂まり」が大事なのではないか。いま「生きつつあり」、いずれ「死んで」ゆく「われ」は、常に「ひとり」であり、余人に決して代替されることのない存在である。「次の瞬間の保証が何もない」のである。人は畢竟「ひとり」であるという鮮烈な事実がここにある。

これらのことから、仏法の大事は、他の人と競い合うことではなく、「ひとり」に寂まるということに尽くされるように思われる。「おのれ」を完遂するということは、「一人前になる」ことである。人が「一人前」になるということとは、「われ」が天地一杯の自己として生きるということと、全く同じである。

（仏教者 鈴木格禅）



俳句 短歌

幾たびか 祈り捧げる 千日会
笹ユリや 観音の山に 咲き誇る
(豊岡市 松井豊さん)

身も心も燃え尽き果てて 空蟬の
土に還らむ 四方の風舞

御仏のみちびき給ふ車椅子
とわのわかれの如意のみ寺よ
(京丹後市 Hさん)

はがき等での投稿歓迎です。
スペースあるとき掲載させていただきます。

—— 永代供養について ——

当寺では、永代供養を行っています。宗旨、宗派は問いません。生前予約もしていただけます。

永代供養の方法

- ・当寺持仏堂の納骨壇に個別に安置いたします。
- ・13年間安置し、その後は境内地内の永代供養墓に合祀します。
- ・永代供養料： 一霊 20万円。

- ・供養のあり方：△ 「永代過去帳」に戒名を記入し、盆・春秋のお彼岸と年忌法要（一周忌、三回忌など）を行います。

○ご質問・詳細は、お気軽にお問い合わせください。

『如意寺だより』は、年四回発行します。郵送ご希望の方は、下記へ何らかの方法でご連絡ください。無料でお送りします。「たより」をお友だちにもご紹介ください。

発行：如意寺 〒629-3409 京都府京丹後市久美浜町1845 TEL (0772)82-0163 FAX (0772)82-0563 E-mail:info@nyoji.com HP:nyoji.com